

▽ 上江洲 律子 准教授 UEZU, Rituko



所 属: 経済学部 地域環境政策学科  
担当科目: フランス語 I・II・III・IV、基礎演習 I・II、  
国際理解課題研究 I、文学 II

学歴等のプロフィール

【主要学歴】

- ・大阪大学文学部大学院文学研究科博士課程 単位修得退学
- ・フランス・モンペリエ第三大学 DEA 課程 修了
- ・大阪大学文学部大学院文学研究科修士課程 修了
- ・大阪大学文学部フランス文学科 卒業

【学位】

- ・文学 DEA(フランス・モンペリエ第三大学)
- ・文学修士(大阪大学)
- ・文学学士(大阪大学)

【所属学会】

- ・日本フランス語フランス文学会
- ・九州フランス文学会
- ・大阪大学フランス語フランス文学会
- ・沖縄国際大学外国語学会
- ・沖縄国際大学総合学術学会
- ・沖縄外国文学会
- ・日本ケベック学会

## 教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
<b>教育活動・方法の実践例</b>		
フランス語 I～IV など	2012年4月～ 現在	2012年に沖縄国際大学に着任。以後、フランス語やフランス文学、ヨーロッパ文化に関連した授業に加えて、地域環境政策学科の1年生を対象とする初年度教育のためのゼミ（基礎演習Ⅰ・Ⅱ）を担当
フランス語検定試験対策講座	2012年4月～ 現在	年に2回、実用フランス語技能検定試験（6月と11月に実施）のための対策講座を企画
フランス語合宿	2015年～現在	年に1回、東村のセミナーハウスにて、フランス語合宿を実施
交換留学生の事前研修	2012年～現在	フランス・レンヌ第二大学への交換留学候補生を対象とする事前研修を実施
<b>学内外での活動</b>		
大阪大学フランス語フランス文学会研究発表会発表	1997年9月	マルロー『王道』における<昆虫>・<モイ族>・<細菌性毒素>の役割—小説における世界創造の手法—
日本フランス語フランス文学会関西支部大会発表	1997年11月	マルロー『王道』における<昆虫>・<モイ族>・<細菌性毒素>の役割—「戦いの場」の構築手法—
日本フランス語フランス文学会九州支部大会発表	2001年11月	マルロー『紙の月』における「farfelu」の表象
大阪大学フランス語フランス文学会研究発表会発表	2002年3月	マルロー『風狂王国』における Ispahan の機能
FM21『沖縄大学提供 ゆにづえるして』の1コーナーを担当	2007年10月～12月	『星の王子さま』を読む（全12回）
文化経済フォーラムのミニ講演会	2007年11月	『星の王子さま』を読む
放送大学沖縄学習センターの面接授業	2008年10月	フランス語入門
大阪大学フランス語フランス文学会研究発表会発表	2011年3月	『ガリア』50号記念シンポジウム「時の経過」のパネリスト担当：『アルテンブルクのくるみの木』におけるマルローの時の経過を超越するものへの眼差し
日本フランス語フランス文学会九州支部大会発表	2011年12月	マルロー『西欧の誘惑』における身体性の萌芽
フランス語検定試験（春季あるいは秋季）	2012年～現在	沖縄国際大学の会場責任者として実用フランス語技能検定試験（春季あるいは秋季）を実施
2013年フランス語教育国内スタージュに参加	2013年3月	4日間の研修に参加
2013年第34回外国語とし	2013年7月～	3週間の研修に参加

てのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修に参加	8月	
沖縄国際大学 CALL ワークショップにて発表	2013年8月30日	タイトル:はじめての自己紹介—動画を通して自分自身を確認!—
学外研究	2016年4月～2017年3月	フランス・ブルゴーニュ大学において研究活動
日本フランス語フランス文学会秋季大会発表	2017年10月	マルロー作品における身体性の表象—『侮蔑の時代』(1935)をめぐって
ラジオ沖縄『冲国大ラジオ講座』を担当	2018年2月	こんにちは、フランス語! (全2回)

## 研究業績等

### 【論文及び著書等】

論文
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Le rôle des objets brahmaniques dans <i>La Voie royale</i> d'André Malraux, <i>Gallia</i>, n°37, 大阪大学フランス語フランス文学会, 1998年3月, pp.41-48</li> <li>・ マルロー『王道』における&lt;昆虫&gt;・&lt;モイ族&gt;・&lt;細菌性毒素&gt;の役割—「戦いの場」の構築手法—, 『関西フランス語フランス文学』, 第4号, 1998年3月, pp.65-73</li> <li>・ L'univers étranger dans les premières œuvres de Malraux —du motif farfelu à l'espace exotique—, <i>Gallia</i>, n°38, 大阪大学フランス語フランス文学会, 1999年3月, pp.33-40</li> <li>・ Le chronotope du <i>Royaume-Farfelu</i> d'André Malraux, <i>Gallia</i>, n°40, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2001年3月, pp.235-241</li> <li>・ L'évolution de la Poétique du jeune Malraux dans les années 1920-1930—Des récits farfelus au roman d'aventures—, DEA 論文, モンペリエ第三大学, 2001年6月</li> <li>・ マルロー『紙の月』における« farfelu »の表象, 『フランス文学論集』, 第37号, 九州フランス文学会, 2002年11月, pp.25-36</li> <li>・ マルロー作品における「生暖かさ」についての考察, <i>Gallia</i>, n°44, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2005年3月, pp.41-48</li> <li>・ マルロー『王道』における身体性, 『待兼山論叢』, 第39号, 文学篇, 大阪大学文学会, 2005年12月, pp.77-92</li> <li>・ 「誘惑」をめぐって—アンドレ・マルロー『西欧の誘惑』についての小論—, 『テキストの生理学—柏木隆雄教授退職記念論文集—』, 朝日出版社, 2008年2月, pp.355-367</li> <li>・ マルロー『アルテンブルクのくるみの木』の物語構造を通して喚起される人間のイメージについて, 『総合学術研究紀要』, 第14巻第1号, 沖縄国際大学総合学術学会, 2010年12月, pp.89-98</li> <li>・ 『アルテンブルクのくるみの木』にこだまする「最初の人間」の声—マルローの時の経過を超越するものへの眼差し—, <i>Gallia</i>, n°50, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2011年3月, pp.209-218</li> <li>・ マルロー『アルテンブルクのくるみの木』における「知識人」について—ヴァレリーの問題提起に対する24年後の返答—, <i>Southern Review</i>, n°26, 沖縄外国文学会, 2011年12月,</li> </ul>

pp.23-38

- ・ マルロー『西欧の誘惑』における身体性の萌芽、『フランス文学論集』, 第 47 号, 九州フランス文学会, 2012 年 11 月, pp.1-14
- ・ マルロー『侮蔑の時代』における身体の表象、『沖縄国際大学外国語研究』, 第 17 巻第 2 号, 沖縄国際大学外国語学会, 2014 年 3 月, pp.1-14
- ・ マルロー『人間の条件』における「身体」イメージの混在, *Gallia*, n°54, 大阪大学フランス語フランス文学会, 2015 年 3 月, pp.103-112
- ・ 身体性が喚起する女性性について—マルロー『人間の条件』をめぐって—, 『沖縄国際大学外国語研究』, 第 19 巻第 1 号, 沖縄国際大学外国語学会, 2015 年 9 月, pp.1-17

#### 報告

- ・ 外国語としてのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修への参加報告, 『総合学術研究紀要』, 第 17 巻第 2 号, 沖縄国際大学総合学術学会, 2014 年 13 月, pp.89-98

#### 著書 (共著)

- ・ 『フランス文学小事典』, 朝日出版社, 2007 年 3 月 (作家 13 人, 作品 8 点, 事項 2 項目を担当)
- ・ 『オ・パ・カマラッド!—足並みそろえて, フランス語!—』, 駿河台出版社, 2008 年 4 月 (改訂版, 2013 年 4 月)

#### 翻訳 (共訳)

- ・ 『ベラン世界地理体系 8: ロシア・中央アジア』, 田辺裕・竹内信夫監訳, 柏木隆雄・鈴木隆編訳, 朝倉書店, 2011 年 6 月 (第Ⅱ部第 7 章~第 10 章を担当)

#### 奨励金実績

- ・ 国際ロータリー財団国際親善奨学生 (2000-2001 年)
- ・ カナダ・ケベック州政府による日本および韓国のフランス語教員を対象とした「外国語としてのフランス語教育およびケベックの文化と社会に関する研修」奨学生 (2013 年)
- ・ 沖縄国際大学の学外研究員としてフランス・ブルゴーニュ大学にて研究活動 (2016-2017 年)

#### 学会関連活動

- ・ 沖縄外国文学会において広報委員長を担当 (2014-2016 年)

#### 研究分野

アンドレ・マルローの作品研究

#### 【E メール・ホームページ等】

r.uezu@okiu.ac.jp

平成 30 年 04 月 01 日現在